

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新型コロナウイルス COVID-19 の感染拡大は 2019 年に最初の患者が見つけられて以来、昨年も多くの人々の行動を制限しグローバル経済にも非常に大きな影響を与えました。現在も国内では第 8 波のピークを迎えようとしています。しかし、中国のゼロコロナ政策の停止などに見られるように、世界では社会・経済活動の正常化に向けた動きが活性化しています。

このような状況下で開催された 2022 サッカー・ワールドカップ・カタール大会では、世界の強豪を相手に日本代表チームが素晴らしいパフォーマンスで私達に大きな感動を与えてくれました。特に 2 度のジャイアントキリングでは「諦めない気持ち」や「勇気」の大切さを教わったような気がします。感動を与えてくれた選手の方々に改めて感謝したいと思います。

現在、社会・経済活動の正常化に向けた動きが活性化していますが、国内の第 8 波の拡大や中国における今後の感染拡大など、先を見通すことは難しい状況が続いています。このような不透明な時代において、当社が社会の中でしっかりとその役割を果たすには、全社員が共有するパーパス（目的）がより重要になると考えています。

私たちのパーパスは『イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていく』ことです。そして四国に根ざした会社として地域社会をより豊かに発展させていくことだと考えています。富士通四国インフォテックのビジネスをお客様や社会からより信頼されるビジネスに変革させていくため、私どもは常にパーパスを確認しながらお客様のビジネスに貢献していきます。

2023 年の干支は「癸卯（みずのとう）」だそうです。「癸」は十干の最後にあたるため、生命の終わりとなつた新たな生命の成長という意味を持っています。また「卯」のうさぎは「茂」という時期であり、繁殖する、増えるという段階にあたる。その両方を備えた「癸卯」は、去年までで様々なことの区切りがつき、次へと向かっていく、そこに成長や増殖といった明るい世界が広がっていくと解釈することができるそうです。我々は長期にわたり COVID-19 の影響で厳しい状況の中にいます。今年こそはこのパンデミックを乗り越え、その先の成長に繋がって欲しいと願っております。

我々が取り組んでいるデジタルトランスフォーメーション（DX）は、お客様に新たな価値をご提供できる「攻めの DX」と自社をより強固に変革する「守りの DX」の 2 軸により、富士通四国インフォテックの競争上の優位を確立することが目的です。ワールドカップで日本代表が見せてくれたこれまでとは異なる趣のスタイル（強固な守りのフォーメーションから一転した攻めのフォーメーションの両軸がかみ合ったプレースタイル）のように。

そして 2023 年本社である番町ミッドタウンビルディングは新しい形に生まれ変わります。グループ会社が一堂に会することで多様なコラボレーションや豊富なコミュニケーション風土が、従来の環境や文化の壁を越え、新しいアイデア（これまでとは異なる趣のアイデア）を創出する後押しとなるはずで

我々は富士通グループが持つノウハウ・スキルを最大限に活用し、高品質なソリューション・サービスをご提供し、お客様とともに成長してまいります。四国に根ざして地域に貢献し、そして市場は四国から日本全国、そしてグローバルへ。今後ますます重要となるお客様の DX の実現に向け、お客様との信頼関係を大切に、お客様のベストパートナーとなれますよう一層努力してまいります。

本年も引き続き、富士通四国インフォテックをよろしくお願い申し上げます。

2023 年 1 月 1 日
株式会社富士通四国インフォテック
代表取締役社長 竹井 真素夫